

令和3年度第2回庄内町地域包括支援センター運営協議会 会議録

- 1 開催日時：令和4年3月22日（火）13:30～14:35
- 2 場 所：庄内町保健センター 検診室
- 3 出席委員：金子絵美、高橋未央、門脇俊宏、檜山澄美、齊藤学、秋庭道雄、佐藤幸基
田澤縁、池田博史
- 4 欠席委員：上野久雄、上野豊、森田義宏
- 5 包括職員：包括課長 佐々木正人、包括係長 岡部美奈子、保健師 吉田光陽
- 6 事務局：保健福祉課長 鈴木和智、課長補佐兼福祉係長 永岡忍
主査兼高齢者支援係長 阿良佳代子、主査兼介護保険係長 丸山昭宏
高齢者支援係主任 河村祥子

1 開 会 保健福祉課長

2 会長あいさつ

3 協 議（進行 会長）

(1) 庄内町地域包括支援センター評価について

【事務局】資料により説明

【委 員】レーダーチャートの評価と町独自の評価は年度が異なるのか。

【事務局】レーダーチャートの評価は全国等集計との比較のため令和2年度の取組、町独自の評価は令和3年度12月時点の取組の評価となるため、評価年度が異なる。

【会 長】町の評価は昨年度より点数が低い項目もあり、厳しいところもあるようだが、その部分の対策については先ほど説明があったように、町と連携して取り組んでほしいと思う。協議会としての評価をすることとなっているので、基準に基づいて私から評価を申し上げるので皆さんからご意見いただきたい。

【副会長】複数項目あるところはどのように取り扱うのか。

【事務局】平均値で評価することとなっている。

【会 長】この評価でいかがか。

【委 員】全員賛成、承認

(2) 令和4年度庄内町地域包括支援センター事業計画について

【包 括】資料により説明

【委 員】先ほどの評価でも今後の取組について説明があったが、その指摘を受けて、この事業計画を立てたという流れでよろしいか。

【包 括】そのように捉えていただいて良い。

【委 員】相談業務もあり、事業をこなすのも容易ではないと思うが、指摘を受けての計画であれば、事業実施の目途について、事業実施の時期や回数等具体的に示してはいいかがか。また、担当者の視点も盛り込んだ計画になっているのか。

【包 括】人事異動もあるため主担当は新年度に決める予定である。具体的な計画については今後立案していく。

【事務局】補足すると、例年、町と包括で協議しながら年間計画を立てるが、コロナ禍にあり計画通りにいかないことも想定されるため、Zoomでの実施等変更もありえる。

【委 員】Zoomでも意見のやり取りはできるので、無理なくできる範囲で実施していただき

たい。

【会 長】思うようにいかないところもあるかと思うが、いろいろ工夫するなど検討してほしいと思う。この案でよろしいか。

【委 員】全員賛成、承認

(3) 地域密着型サービス事業所等の指定更新について

【事務局】資料により説明

【委 員】全員賛成、承認

(4) 今後の地域包括支援センターの体制について

【事務局】資料により説明

【会 長】いろいろ状況が変化しているようだが、今後も体制について確認していくことが必要と考える。社会福祉協議会からも何か意見があれば。

【委 員】令和4年度の体制についても町と協議をしてきた。第9期からのあり方については、これから町としっかり議論を深めていきたい。

【会 長】この件については報告とする。

4 その他

(1) 令和4年度保健福祉課事業（健康寿命延伸のための取組）について

【事務局】健康しょうないマイレージ事業についても質問をいただいていたので回答する。

平成30年度は、1,174枚、令和元年度は商品券461枚の引換があった。令和2年度は申請が20団体、338人に対し、実績が198人で引換率58.6%、令和3年度は申請が19団体、310人に対し、実績が159人、引換率51.2%だった。

【委 員】住民の多くは高齢になると割引券がもらえると思っているところがある。インセンティブは良いことだが、目的をきちんと伝えなければならない。周知のしかたが重要となるので、町民には分かりやすく平易な言葉で伝えてほしい。

【事務局】クーポン券には「お出かけして元気になろう」と記載するほか、対象者への通知には目的や協力事業所を記載している。

【会 長】協力事業所がわかりづらい。

【事務局】健康ライフ応援事業の協力事業所は、理美容店の一部、町湯、プール、体育館等である。協力事業所にはポップを置いていただき、目にとまるようにしている。健康チャレンジ事業については、交付の際渡す資料に協力事業所を掲載している。

【会 長】町ぐるみの健康の取組のようなので、さらに拡大して取り組んでいただきたい。

【委 員】高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業について、具体的な目標はどのように考えているか。

【事務局】明確な目標数値はない。来年度はまずデータの集約から着手し、その後具体的は目標数値を設定していきたいと考えている。

【委 員】長期的なビジョンとして、どのように考えているのか。人口推移や給付率などを踏まえ、どのような見通しか。

【事務局】まずは個人データの整備から始め、具体的な数字については第9期介護保険事業計画と健康しょうない21計画の中に計上していきたい。先の長い事業でもあり、この事業だけの目標値とせず、介護保険事業計画等に連動させていく予定である。

5 閉 会